



国際ロータリー第2740地区 長崎北東ロータリークラブ

2020～2021年

週報第28号

(通算2187号)

例会:令和3年6月23日

ロータリーは機会の扉を開く

会長挨拶 高木 哲郎



名前も文字変換の時代か？

いよいよ会長挨拶も今回も含め2回となりました。コロナ禍の影響で歴代の会長と比べ苦痛の挨拶も半分程しか出来ず、あと少しで終ると思うと、嬉しいやら悔しいやら。しかし、やはりホッとしています。今回は何を喋ろうかと、悩みながら前草野会長時の週報での会長挨拶を振り返り見ていると、昨年の7/24の週報での「名前由来NET」に目が止まりました。その内容ですが、姓名の姓の方の由来及び全国的な公表ランキングを話されていたのを覚えていらっしゃいますか？今回は姓名の下に続く名前の事で、以前少し話題になった事を思い出し古希を過ぎた私なりに勝手に考えてみました。山梨県に住む高校3年の男子生徒が甲府家庭裁判所に願い出されていた「改名」が許可されたというニュースが2年前の3月にありました。彼の元の名前は「王子様(おうじさま)」でした。王子ではなく王子様です。最初から名前に「様」が付いているのですから、病院や薬局等、外出先では「順番をお待ちの〇〇おうじさま様」となります。呼ぶ方も呼ばれる方もさぞかし戸惑った事でしょう。彼はそんな自分の名前がイヤで嫌で仕方なかったのでしょうか、その気持は分かります。ただ、「王子様」という名前は、大切な息子が自分にとって唯一無二の王子様のような存在だったという母の思いが由来だったそうです。高校生の彼の改名への希望は別として、今回裁判所の決定に両親は複雑な気持だったと思います。何年も前からキラキラネームと呼ばれる一風変わった名前を付ける親が増えました。天馬と書いて「ぺがさす」、飛翔と書いて「じゃんぷ」等は、まだ私なりに成る程と思う部分もありますが、星影夢「ぼえむ」、皇帝「しいざあ」となるともう訳が分かりません。キラキラネームが流行る理由のひとつに、法的に名前は必ずしも漢字の読みそのものでなくても認められる事が有ります。極端に言えば、私「哲郎」と書いて「リチャード」とか「キャサリン」と読んでいいのです。子供の数が7人8人と多かった昔の名前は簡単なものがほとんどでした。読み方も漢字の音読み訓読みそのものでしたし、更に最初に生まれた子供は太郎や一郎、二郎は当然次男、末男や留吉は名前でも末子と推察できるものでした。百人いたらほぼ全員が「てつろう」と読める私の名前も、今の子供達から見たらもはや、前時代的な名前かもしれません。以前「悪魔」の名前で出生届が不受理となって世間を騒がせた事が有りました。それに比べたら、キラキラネームとはいえ、親が子供の幸せを願っての命名を全否定する事は出来ません。しかし、子供は死ぬ迄その名前と付き合っていくなくてはならないのです。面白がっている訳ではないでしょうがペットではないのですから、一時の思いつきや盛り上りで一生のものとなる名前をつけることはどうかと、初老の私は思うのですが。

【幹事報告】

- 次年度、7月14日(水)と21日(水)にクラブ協議会・活動計画発表があります。次年度の各理事・委員長は原稿のご準備を宜しくお願いいたします。(ファックスにて再度ご連絡いたします)
- 6月30日(水) 最終例会、賀寿会を18時～ アストピアで開催予定です。コロナによる変更がある場合はご連絡いたします。最終例会の会費については、第5期の請求ませんので、次年度7月の会費請求時に含ませていただきます。
- 例会後、定例理事会



幹事
岩永 城児

今後の
予定

- 6月30日(水) 最終例会
- 7月7日(水) 会長活動方針・幹事所信表明
- 7月14日(水) クラブ協議会

ニコニコBOX

高木:本日のご来訪者は長崎ロータリークラブのNBC長崎放送取締役の中尾弘様です。先だっの5/31、社会奉仕活動の一環として実施した「こころ医療福祉専門学校」に於けるボッチャ器具寄贈式での取材並びに6/9 昼・夜2回に渡る放映有難うございました。



ニコニコ発表
東会友

岩永(城):残り本日も含めて2回となりました。今年度は色々大変でしたが、高木会長のリーダーシップで乗り切ることができました。中尾弘様のご来訪ありがとうございます。よろしくお願いします。

伊藤:本日もよろしくお願いいたします。

猪股:NBC長崎放送 常務取締役 中尾弘様の御来訪を心より歓迎致します。完成間近の立派な新社屋での益々の御活躍を祈念致します。

大坪:本日の例会、楽しみたいです。

久保田:先週の土曜日、米山小学生 次期会長セミナーがあり、地区委員としてお世話をさせて頂きました。当クラブからは浜本会長エレクトに参加頂きありがとうございました。私は朝10時より奨学生を迎えに行き 会場設営から始まり受付そしてセミナー終了後の片付け そして奨学生を家まで送り、帰りは夕方となりました。これを話したのは、皆さんから「お疲れでしたネ！」「大変でしたネ！」とか、ねぎらいの言葉を決してもらいたくてニコニコした訳ではないので勘がいしない様にお願いします。米山への寄附よろしく申し上げます！！

南里:皆様 おつかれ様です。会社でワクチン接種ができそうになりました。しかし副反応が心配です。

丸木:①長崎RC 中尾弘様のご来訪を歓迎致します。ごゆっくりどうぞ。②本日の卓話はクラブ協議会です。担当の理事委員長の皆様、年間活動報告 よろしく申し上げます。

森(正):お疲れ様です。やっとロータリーの会合に慣れてきました。来週の初夜の賀寿会、たのしみにしています。

小計: 9名/¥18,000

累計: 347名/¥856,900

本日のご来訪者

長崎RC NBC長崎放送
常務取締役 中尾 弘様

年間活動報告発表

公共イメージ部門



理事 井口盛博

この部門には、クラブ会報委員会と広報・資料・雑誌委員会の2つの委員会があります。三原委員長率いるクラブ会報では、毎回の週報の発刊がスムーズにいくように心掛け、岡本会友(八光印刷工業)のご協力のもと今年度は29回分作成することができました。中野雅和委員長率いる広報・雑誌・資料委員会では、ロータリーの認知度を高める活動やイメージアップのための広報活動や例会中の写真撮影を委員と協力して行いました。今年度はポッチャ競技用ランプとボールの寄贈を、長崎新聞やNBC長崎放送に取材して頂きました。コロナ禍がすこしでも沈静化することを願い、次年度のさらなる活躍を期待しています。

代読 井口盛博 **クラブ会報委員会** (委員長 三原英樹) 会員相互の情報共有化とクラブの親睦と発展に寄与することを目的に、クラブ活動状況を主体として週単位での定期発行に取り組んでまいりました。コロナ禍の中、例会の開催も少なかったため発行も不定期になってしまいましたが、会友の皆様、ご来訪者の皆様には写真・コメント等を数多くいただき心より感謝しております。また、誌面については、会長挨拶、幹事報告、委員会報告、来訪者紹介、ニコニコBOX等、従来の構成を踏襲致しました。会報の作成・発行に関しては、八光印刷様、事務局の尾野様の多大なるご尽力により遅滞なく発行することが出来ました。一年間の会友の皆様のご協力・ご支援、誠にありがとうございました。

代読 井口盛博 **広報・雑誌・資料委員会** (委員長 中野雅和) 当委員会では、広くロータリークラブの認知を高めると共にロータリーの様々な奉仕活動によるイメージ向上のために、メディアで取り上げていただいたり、ホームページに掲載するなどして活動を推進してきました。それらによる効果が少しでも会員増強やイメージアップに繋がることを願っています。また、例会時の写真撮影は当番制で委員の皆さんと協力して行い、滞りなく週報に掲載することができました。皆さんのご協力に感謝いたします。今年度はコロナウイルスの流行により、スポーツイベントの開催中止等、広報活動があまりできなかったため、次年度は是非、活動を再開し、ロータリークラブのさらなるイメージ向上のために頑張りたいと思います。一年間ありがとうございました。

ロータリー財団部門



理事 鬼塚洋一

財団の友 年次基金 10,500円×37名
年次基金 1名 100,000円
ポリオワンコイン 総額 17,000円
合計 505,500円

会友皆様のご協力誠にありがとうございました。

地区補助金を活用したプロジェクト「最重度障害者にスポーツを！ポッチャ競技のランプを贈呈し、社会参加に繋げるプロジェクト」活動に総額205,646円を運用。地区補助金額118,860円、クラブ負担金131,786円。地区補助金を活用した意義ある奉仕活動の実践となったことを報告します。

ロータリー財団からのメッセージ 本ロータリー一年度が終わりに近づいてまいりましたが、ロータリー財団への弛まぬご支援に心からお礼申し上げます。皆様のおかげで、地元や海外の地域社会ではロータリアンが行動をおこしインパクトを大きくすることができただけでなく、より多くのプロジェクトが可能となり、より多くの人たちが恩恵を受け、より多くの課題に取り組むことができました。本ロータリー一年度、財団は1,900件のグローバル補助金を授与し、その金額は1億3,900万ドルに上ります。又、1988年以来、パートナー団体と共に約30億人の子供もたちにポリオの予防接種を実施してきました。さらに、世界中のロータリー会員が新型コロナウイルスを含むさまざまな疾病から地域社会を守るために 引き続き

活動しています。皆様からのご寄付により「世界でよいこと」が可能となるほか、世界中の最も差し迫ったニーズへの取り組みが実現できます。ロータリー財団への弛まぬご支援に心から感謝いたします。心をこめて ロータリー財団

奉仕プロジェクト部門



理事 田中徳之

奉仕プロジェクト部門5つの部門で奉仕活動を実行しアイデアを出し合うをかねていましたが、各部門同様、コロナ禍で休会が多かった為に主だった活動が出来ませんでした。各部門で少しでも活動しておりますので各委員長に発表していただきます。



委員長 西岡克之

職業奉仕委員会 職業奉仕委員会では、今年度は11月に介護付き有料老人ホーム「こころのしろ」での民謡慰問、3月に職業活動表彰を予定しておりましたが、コロナ禍でやむなく中止といたしました。次年度は是非実施して頂きたいと思っております。



委員長 山口裕

社会奉仕委員会 ロータリーの社会奉仕活動 今期は、「新型コロナ禍」の影響が大きく、今期目標をなかなか実行できませんでした。①前期、訪問できませんでした「総合水産試験場」への職場訪問の実施も「新型コロナ禍」の為、職場訪問の制限で実施できませんでした。

②障がい者スポーツ「ポッチャ競技」の支援活動 2021/5/31(月曜日)16時より「こころ医療福祉専門学校様講堂」におきまして「ロータリー財団地区補助金から協力を受け」長崎北東ロータリークラブからの「ポッチャ競技用の「ランプ(勾配具)」および「ボール」の寄贈式」が行われました。寄贈者の長崎北東ロータリークラブより高木哲郎会長、岩永城児幹事、鬼塚洋一ロータリー財団部門担当理事、山口裕社会奉仕委員会委員長、尾野美佐恵事務局員、受贈者の長崎県ポッチャ協会会長「奥野比呂志様」、他「ポッチャ指導者」こころ医療福祉専門学校校長「藤原善行様」も立ち会われ、贈呈式が無事終了いたしました。今期、贈呈出来ましたので「安心」致しました。



委員長 東義隆

国際青少年交換委員会 2004年度以降、国際青少年交換の実績はありません。実績がない期間が続いておりますが、委員会活動を続けていくことに意味があると思います。次年度も実現は難しいと考えておりますが、一歩でも進んで取り組んで頂けたらと思います。1年間ありがとうございました。



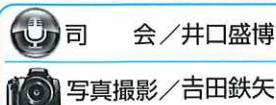
委員長 辻村栄蔵

米山記念奨学委員会 米山記念奨学委員会の上半期の活動としては、7月に一人当たり4000円、38名の普通寄付158,000円を寄付いたしました。また、コロナウイルスの影響もあり奨学生の卓話を一部映像化し、例会で放映するという形式で実施していますが、当クラブも11月25日(水)に例会卓話として、マレーシア出身のリム・チンチイさんの卓話映像を放映いたしました。



委員長 久保田和典

青少年奉仕委員会 7月に時津町剣道大会の後援をいたしました。その後コロナにより、10月の時津町少年ソフトボール大会は中止となり、残すところ、2月に高校生3地区ラグビー対抗戦となりました。がこれもコロナで一旦中止となりましたが、急遽4月17日に再度開催されることとなり、会長・幹事に出席いただきました。大雨の中、開会式は柿泊グラウンドメイン会場の室内で行われ、高木会長より、高校生に熱い言葉を頂きました。まさに自分の生きざまを全否定する様な素晴らしいスピーチでした。ありがとうございました。ちなみに奉仕プロジェクト部門担当理事の田中徳之様は、奥様と旅行に行かれるとのことでお休みでした。楽しかったでしょうか？今年もコロナの関係で思うような活動ができませんでしたが、来期はコロナも終息に向かうと思われまますので、次の委員長には今年度以上に、活発に活動されることを期待いたします。今年一年間皆様にご協力頂き本当にありがとうございました。



創 立/昭和49年4月30日
承 認/昭和49年5月22日
例会日/毎週水曜日 12:30~13:30
例会場/長崎新聞文化ホール「アストピア」

事務局/長崎市目覚町8-11-301
TEL843-6635/FAX845-9411
URL <http://nerotary.org/>

本日のメニュー



	全員総数	Home Club 出席数	Home Club 欠席数	Make-up	免除者	修正出席率	出席率
6月9日	39	29	7	2		86.1	
6月23日	39	31	7		1		81.6

月間出席率	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	82.1	81.3	81.3	74.4	77.5	78.4	82.2	83.6	0	78.4	80.1	84.2
本年度	81.5	79.5	81.8	78.6	74.3	76.3	0	0	81.6	81.1	0	